

旧多摩聖蹟記念館は

# 「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」

に選定されました！！

旧多摩聖蹟記念館(旧称:多摩聖蹟記念館)は、一般社団法人 DOCOMOMO Japanによる2021年度「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選定されました。

## 日本におけるモダン・ムーブメントの建築

モダン・ムーブメントに関わる建物と環境形成の記録調査および保存のための国際組織 DOCOMOMOの日本支部であるDOCOMOMO Japanによって認定される近代建造物。

国立西洋美術館、国立劇場、新宿駅西口広場駐車場、霞が関ビル、東京タワー、日本武道館などがあります。

### 設計者 関根要太郎と蔵田周忠

関根 要太郎(せきね・ようたろう)  
(1889~1959)

大正・昭和期に国内で活躍した建築家。ドイツにおけるアールヌーボーにあたるユーゲントシュティール(青春様式)のモダンな洋風建築を得意としました。関根建築事務所を開設し、多摩聖蹟記念館や京王閣を建設しました。

蔵田 周忠(くらた・ちかただ)  
(1895~1966)

大正・昭和期に国内で活躍した建築家。大正9(1920)年に結成された分離派建築会に参加し、モダニズム建築を手掛けるとともに、東京高等工芸学校や武蔵工業大学で教鞭をとり、建築史関係の著作も多数執筆しました。一時、関根建築事務所に所属し、多摩聖蹟記念館や京王閣の設計に携わりました。

## 旧多摩聖蹟記念館

【所在地】 東京都多摩市連光寺5-1-1(都立桜ヶ丘公園内)

【竣工】 1930(昭和5)年6月26日

【施設】 ギャラリー(回廊部分約70㎡)、喫茶サロン、厨房、事務室  
(建物面積397.19㎡)

明治政府の宮内大臣であった田中光顕(たなか・みつあき)らより、明治天皇や皇族の連光寺行幸・行啓を記念して「多摩聖蹟記念館」が建てられました。



明治天皇騎馬像  
(多摩市教育委員会蔵)

1986(昭和61)年に管理団体から市が寄贈を受けた後、市の指定有形文化財に指定し、2002(平成14)年に東京都の「特に景観上重要な歴史的建造物等」、2022(令和4)年に DOCOMOMO Japanによる2021年度「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選定されるなど、建築の観点からも高く評価されています。